



災害ボランティア・NPO 活動サポート募金

活動報告

一般社団法人 Wellbe Design



当法人では、平成 30 年北海道胆振東部地震に際し、社会福祉法人中央共同募金会が行う「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金（通称：ボラサポ）」の採択を得て、災害発生日である 2018 年 9 月 6 日から 2019 年 3 月 31 日までの期間、「胆振東部 3 町の被災者支援を円滑にするための体制を整備するための活動」を行いました。

活動体制



メディア・リレーション・マネージャー

西村 勇太

活動期間：2018/9/8～2019/3/31

上記期間中 173 日間を現地で活動
内、81 日間が本助成事業対象事業



理事長

篠原 辰二

活動期間：2018/9/6～2019/3/31

上記期間中 45 日間を現地で活動
内、23 日間が本助成事業対象事業

活動内容

1) 緊急支援：9月6日～9月30日までの25日間。

- ① 3町に派遣された苫小牧保健所の保健師と地元の保健師を訪問・支援し、ハイリスク者に対する支援と今後の被災者支援活動について調整しました。
- ② 3町の民生委員児童委員担当事務局を訪問・支援し、在宅の要配慮者に対する支援と今後の被災者支援活動について調整しました。
- ③ 3町及び苫小牧市の社会福祉協議会を訪問・支援し、災害対策本災害ボランティアセンターの開設支援を実施しました。
- ④ むかわ町及び厚真町の災害対策本部が抱える支援課題を受け止め、道庁担当者や北海道開発局、災害支援を担うNPOや企業等をコーディネートし、課題解決を担いました。



2) 生活支援：10月1日～11月30日までの61日間。

- ① むかわ町及び厚真町の災害ボランティアセンターと連携し、被災者に対する引っ越し、カフェ、足湯などの生活支援ボランティアの創出などのコーディネートを行いました。
- ② 各町役場と社会福祉協議会、各種支援団体をつなぎ、被災者の生活課題を検討するための場づくりを支援しました。



3) 復興支援：12月1日～3月31日までの121日間。

- ① むかわ町災害ボランティアセンターの活動を調整し、長期的な復興支援の体制整備とコミュニティ再生に向けた協議の場づくりを行いました。
- ② 北海道NPOサポートセンター及びJVOADが担う情報共有会議等と連携し、被災者個々の課題解決と被災地域の復興に向けた支援体制の構築を行いました。
- ③ むかわ町において、全4,000世帯への訪問調査活動をスタートさせ、被災者の生活支援の取り組みに向けた新たな展開を図りました。



4) その他：9月7日～3月31日までの206日間。

- ①facebook ページ「北海道胆振東部地震・情報共有グループ」を構築し、主にむかわ町、厚真町、安平町の災害支援情報をまとめて発信し、外部支援者との調整を行いました。
- ②むかわ町社会福祉協議会からの依頼を受け、むかわ町災害ボランティアセンターの公式 facebook ページ「むかわ町災害ボランティアセンター」を運営。ページの構築には災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（通称「支援P」）が関与したが、同町の社協職員全員がアカウントを持っておらず、情報発信を担当しました。
- ③被災家屋から寄せられた思い出の品や写真・アルバムなどをサルベージ（修復・修繕）する「Omoidori Project」を実施し、被災した方々の思い出を守る活動を行いました。
- ④地震により書棚が全て倒壊したむかわ町立図書館の開設に向け、蔵書の整理などを行いました。



助成金の使途

- | | | |
|--|-------------|---------------------------------------|
| 1) 通信費 | 12,351 円 | |
| 現地に駐在するスタッフの携帯電話使用料及び Wi-Fi ルーターの通信費用等 | | |
| 2) 運搬移送費 | 517,822 円 | |
| 従事車両のガソリン代、高速料金、レンタカー費用等 | | |
| 3) 物品・資材費 | 20,739 円 | |
| パソコン周辺機器及び Omoidori Project 用の機材購入費用等 | | |
| 4) 備品費 | 141,359 円 | |
| スタッフ及びボランティア用の防寒用ジャンパー及び寝袋の購入費用等 | | |
| 5) 設備費 | 94,534 円 | |
| 情報発信に利用するパソコン及び携帯電話端末の購入費用等 | | |
| 6) 人件費 | 1,530,000 円 | |
| 有償スタッフ 2 名の人件費 | | |
| 合 計 | 2,316,805 円 | (内、助成金充当額 2,280,000 円、自己負担額 36,805 円) |

お礼

当法人では災害発生当日より被害が大きかった胆振東部3町を訪ね、行政、社協、NPO等の各機関と連携を図りながら災害ボランティアセンターの開設を含む支援体制の構築に努めてきました。

発生翌日からは当法人スタッフ1名を常駐させ、主にむかわ町及び厚真町における支援が円滑に行われるようコーディネートを行ってきました。こうしたコーディネート活動はあまり目につかない活動ではありますが、被災地域が抱える様々な課題に行政機関や社会福祉協議会と共に取り組み、解決に向けて各支援団体をつなぐなど被災者の生活再建に向けて大きな役割があったと感じています。

当法人は胆振東部地域まで車で約1時間の位置にあり、現地までの移動にかかる燃料費や現地での滞在費、更には厳冬期の活動における防寒対策などに大きな負担を感じていましたが、災害ボランティア・NPO活動サポート募金の助成を受けたことにより、2019年3月末日までの活動を行うことができました。

本年は例年よりも少し早い雪融けとなりましたが、住宅の修繕などの生活の再建やこころの復興はこれからが本番だと思っています。

これからも被災地域で被災された方々に寄り添い、丁寧な支援活動を継続していきたいと思います。これからもご支援をお願いいたします。

2019年3月31日

一般社団法人 Wellbe Design

篠原 辰二